



天童東ロータリークラブ

クラブテーマ「今だからこそ出会いを大切に 奉仕を楽しみ活動的に そして団結」

会長／斎藤 幸雄さん ・ 幹事／佐藤 栄治さん

通常例会 1674 回・本年度第 13 回 例会日 2020 年 10 月 28 日会場／天童ホテル

司会／金 星さん ソング／四つのテスト タクト／鞍掛 彰秀さん

会長挨拶 斎藤 幸雄 会長

皆さん、こんにちは。お変わりございませんか。先週、天童でコロナ感染者が 3 人、今週に入って 2 人の感染者が確認されました。皆さんも感染予防に努め十分に気を付けてください。

それでは今日のお客様をご紹介します。山寺観光協会 商工事務部長の遠藤正明さんです。後程、演題「これからの山寺の観光」について卓話をお願いしております。よろしく願いいたします。



この秋、各地で熊の出没が相次いでいることがニュースになっております。今年 4 月から 9 月まで、全国の出没数が 1 万 3670 件、1 番多い県は岩手県の 2869 件、2 番目は長野県、3 番目は島根県となり、山形県は 420 件で 13 番目だそうです。世界には 8 種類の熊がいるそうです。日本国内には北海道に生息するヒグマと本州に生息するツキノワグマの 2 種類があり、北海道は約 55% の地域、本州は約 45% の地域に生息しているそうです。つまり、日本の国土の半分に生息することになります。山形県で目撃件数が多いのは置賜管内、2 番目に庄内管内、次に村山管内、そして最上管内となっております。今日おいでになっている遠藤さんの山寺地区にも数件の目撃情報が出ております。熊の出没が多発している理由として、今年は餌となる木の実が不作で少なくなった地域もあり、熊が食べ物を求めて人里にやってくるそうです。かつて里山などの山林は人手をかけて管理することで、熊が人里に近づきにくくしていたと考えられています。しかし、現在では山村地域の過疎化や高齢化など、社会環境の変化により里山や山林を手入れする活動が減り、熊の生息区域が広がっていることなどがあるそうです。熊に出くわすことはなかなかないと思いますが、万一出くわしてしまったら、慌てず落ち着いて行動していただければと思います。

幹事報告 佐藤 栄治さん

- 本日、例会終了後臨時理事役員会を開催します。理事役員の方は例会終了後 1 階ロビーにお集まりください。

委員会報告

ロータリー財団からの連絡 土屋 政浩さん

来月 11 月はロータリー財団月間です。皆様方にロータリー財団への寄付をお願いしております。10 月現在のロータリーレートは、1 ドル 105 円ですので、特別寄付は 100 ドル 10500 円です。11 月のレートは後日連絡します。尚、米山奨学とロータリー財団両方に寄付をされた方、またはどちらか一方に 2 口以上の寄付をされた方には、記念品を差し上げる予定です。



米山委員会からの連絡 米野幸治さん

米山奨学会寄付はまだ受付中です。ご寄付、ぜひよろしくお願いいたします。

3分間スピーチ 伊藤 敏明さん

私は、昭和15年6月29日中国の大連で生まれ、今年80歳になりました。家族は両親と姉と私と4人で、父は大連にあった日本軍の無線機を作る会社に勤めておりました。終戦後、昭和22年3月に日本へ引き揚げ、天童の山口村にある父の実家に身を寄せました。大家族の中に私たち4人家族が加わったので、食料難で大変だった中、良く食べさせてくれたと感謝しています。その後、父が天童駅前に小さな店舗付き貸家を借り、ラジオ屋を始めました。父は東京の神田に部品を仕入れに行き、自分も父と共にラジオ作りを手伝いました。イトウデンキのラジオは性能がよいと当時飛ぶように売れました。その後現住所に住居を構え、家業を継ぎ現在に至っています。



ロータリーの歴史について 担当 高橋繁夫さん

親睦を目的とする1業種1会員の原則があれば、自分の能力の範囲内でロータリークラブを作れるのではないかと思ったハリスは、1905年2月23日第1回の会合に踏み切りました。こうしてハリスが作った1業種1会員を主軸とする職業人の社交団体は知名度が高まり、ロータリークラブは全米に広がっていきました。小さなクラブもあれば、大きな規模のクラブもありますが、現在残っている団体には、エクステンジ、キワニス、オプチミスト、ライオンズクラブ国際協会などがあります。



ハリスはスコットランド・エディンバラのカムリーバンクスにいたころ、一人の娘と出会ったことがありました。その後時を経て、春にピクニックに出かけた際、鉄線に引っ掛けて破けてしまったハリスの上着を、同じく参加していた女性が繕ってくれました。その彼女こそがカムリーバンクスで出会った娘ジーン・トムソンで、その後愛を育み、1910年7月2日に結婚しました。シカゴに新居を構え、新居には彼女の故郷の名前を取り、「カムリーバンクス」と名付けて79歳の生涯を閉じるまでそこで生活を送りました。ハリス没後、1000ドルの遺産はロータリー財団に寄進され、第3号のポール・ハリスフェローの称号者となりました。その後残された妻は故郷のエディンバラに戻り、彼女が没後は同じく遺産7万ドルをロータリー財団へ寄付しました。



ライオンズクラブに触れておきたいのですが、私は5年位前までライオンズのライオンは猛獣のライオンだと思っていました。ライオンズクラブのライオンとは猛獣のことではなく **Liverty**:自由、**Intelligence**:知性、**Our Nation's Safety**:愛国心の頭文字から由来しています。

スマイル報告 原田 正夫さん

山寺観光協会 商工事務部長 遠藤 正明さんを歓迎して

→斎藤幸雄さん 新関彌一郎さん 武山 茂さん 土屋政浩さん 赤塚弘実さん

ロータリー史全7回お付き合いいただきありがとうございます。私もポール・ハリスに会えたようでうれしかったです。

→高橋繁夫さん

ゴルフ愛好会のコンペで久しぶりに優勝しました！

→分銅 昭夫さん

【本日の卓話】

講師 山寺観光協会商工事務部長 遠藤物産代表取締役社長 遠藤正明さん

演題 「これからの山寺の観光」

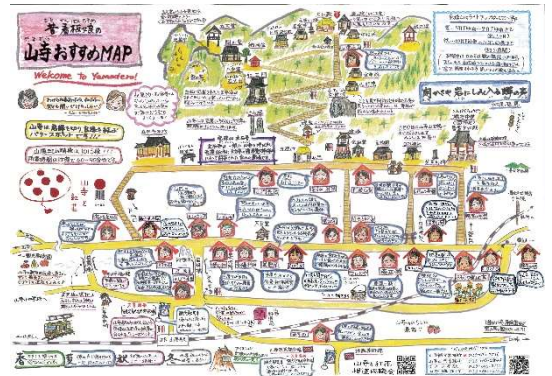
今回のコロナ禍により、初めて山寺に人が登山しない日がくるとは思いもよらず、立石寺の住職は山を閉めるとまで言い始め、先行きが見えなくなりました。ですが、妻と支え合い0からのスタートと思い直し、なんとか商売を続け GoTo キャンペーンの効果もあって、現在は来客が徐々に戻りつつあります。



山寺の来客数は年々増加しており、近年は海外からの観光客も増加してきました。海外の方の観光の様子を見ておりますと、朝から晩まで山寺を観光して下さっており、それこそが本当の観光だと思いました。団体旅行ですとただその場所に行くだけになってしまいがちですが、それでは地域をだめにしてしまうと感じていました。山寺や天童のような真の観光地は、じっくりと観光してもらえるようにしなくてはいけないと考えています。

山寺と天童は大変密接な関係にあり、日頃より山寺観光協会との親睦を深めています。その絆からこれまでいろいろな旅行商品を生みだし、タクシープラン、大型商業施設との提携など、山寺へ集客するためにいろんな手段があることに気づき、それらの企画化を実践してきました。

例えば、当社が天童や蔵王の旅館に商品を卸していることを生かし、取引している旅館のお風呂や宿泊を実際に利用して、その旅館やお店を知り自ら紹介できるように心がけました。また、妻を筆頭に山寺の婦人会が中心となって、手書きの山寺観光マップを作製、互いの店を紹介しあえるような地図を作りました。そのおかげで一時は脱退したお店も観光協会に復帰してくれ、個人旅行が増えている近年、この観光マップが大変好評を得ています。(遠藤氏の娘さんが各店の店主の似顔絵を描いています!)「出羽名刹三寺まわり」という企画も大変好評で、今回そのプランをタクシーで利用できる企画をしましたが、本日初の予約をいただき好調なスタートを切りました。そして、今年で17年目を迎える宝珠山の夏と秋のライトアップは例年好評を博しておりますが、これは天童温泉が宿泊者に移動バスを用意し山寺に客を送り込んでくださるなどPRの尽力が大きく、これもひとえに天童との



連携のおかげであります。特にこのライトアップの企画には、冬季期間の集客につなげたい目的もあり、冬はどうしても閉店する店も少なくない中、自社の店は年中開店営業を続けてきました。冬が最も美しいとされるこの山寺にライトアップがきっかけで冬季でもたくさんの来客があり、冬でも山寺のお店が閉店しない状況を作り出したいです。



ほかにも蔵王との連携では、出羽桜の仲野さんと共に県内全ての日本酒を用意し、温泉街に日本酒を飲める屋内式の屋台を開設したり、秋保との連携はすでに進んでおります。今後は作並や銀山など幅広い地域とさらなる連携を強めていく所存です。山寺だけに客が多く来れば良いという発想ではなく、いろんな各所との連携を深めることで、山形県がひとつとなり、お互いが発展していけると考えております。その上でも、天童との関わりは非常に重要な核でありすべての原点になっています。これからもご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

出席報告

本日会員 52名 : 出席者 36名 (義務出席 : 45名 出席率 : 80%、前々回出席率 : 82.22%)